

SBIグループの経営理念と事業構築の基本観

● 正しい倫理的価値観を持つ

「法律に触れないか」、「儲かるか」ではなく、それをすることが社会正義に照らして正しいかどうかを判断基準として事業を行う。

● 金融イノベーターたれ

従来の金融のあり方に変革を与え、インターネットの持つ爆発的な価格破壊力を利用し、より顧客の便益を高める金融サービスを開発する。

SBIグループの経営理念

● 新産業クリエイターを目指す

21世紀の中核的産業の創造および育成を担うリーディング・カンパニーとなる。

● セルフエボリューションの継続

経済環境の変化に柔軟に適應する組織を形成し、「創意工夫」と「自己変革」を組織のDNAとして組み込んだ自己進化していく企業であり続ける。

● 社会的責任を全うする

SBIグループ各社は、社会の一構成要素としての社会性を認識し、さまざまなステークホルダー（利害関係者）の要請に応えながら、社会の維持・発展に貢献していく。

SBIグループの事業構築の基本観

「顧客中心主義」の徹底

何よりもまず「顧客第一」で考えて設計することで、顧客価値の増大を図り、株主価値・人材価値との相乗効果で企業価値を極大化する。

「仕組みの差別化」の構築

「価格」「質」「バラエティー」という個別の競争要因の差別化ではなく、組織戦略上の優位性を確保するための「仕組みの差別化」を組織にビルトインすることで、過当競争に巻き込まれることなく成長を続ける。

「ネットワーク価値」の創出

一つの企業を単一産業の構成員として存在させるのではなく、「企業生態系」として多様な事業領域にまたがる企業グループとして運営することで、シナジーを最大限創出し、相互成長を実現させる。